

Vol.6 細胞から分子へ原子へそして宇宙へ

7月 日時未定

癌治療について研究していた、ココルームのライブでおなじみじゃんじゃんこと西本豊さんが、細胞、分子、原子、そして宇宙についてはなしをします。

場所：カマン！メディアセンター

参加費：無料（カンパ歓迎）

コーディネーター 西本 豊

※ 急な企画変更が起きることもあります。詳細はココルーム、およびカマン！メディアセンターのホームページにて



* お問い合わせ・お申込み *

特定非営利活動法

人こえとことばとこころの部屋

(ココルーム)

557-0001

大阪市西成区山王 1-15-11

電話 06-6636-1612

info@cocoroom.org

http://www.cocoroom.org

カマン！メディアセンター

557-0002

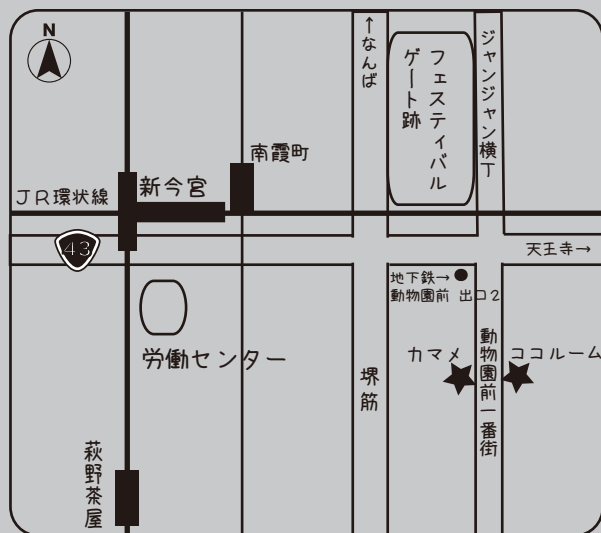
大阪市西成区太子 1-11-6

電話 06-6636-1612

info@kama-media.org

http://www.kama-media.org

マップ



釜ヶ崎から いろんな人と いろんな角度から 原子力発電について考えてみる

原発について、日々わたしたちが活動している、このまちから、今、考えていくことに意味があるのではないかと...
ということで、釜ヶ崎から原子力発電について考える連続企画をかんがえました

原発について知識がないけれど... 本当に危ないの？

日雇労働者ってなに？ という方、どなたでも参加ください



Vol.1 映画から考えるエネルギー ～ミツバチの羽音と地球の回転から～

日 時：5月15日(日)

集合場所：動物園前駅 2番出口 8:20 (現地集合の場合10時前に会場前)

上映会場：同志社中学校 宿志館 魁ホール

未来のエネルギーをどうするのか？原発建設が計画されている瀬戸内海の島「祝島」と北欧スウェーデンでエネルギーの自立に取り組む人々の物語「ミツバチの羽音と地球の回転」。この映画の上映会+監督講演を見に行き、そのあとで、祝島反原発運動に関わっている熊本さんをまじえみんなでお昼ごはんをたべながらお話しします。

※申し込みの必要がありますので、参加の方は5月10日(火)までにココルームまでご連絡ください。Tel 06-6636-1612

※上映会参加費1000円 交通費・ご飯代 は実費になります

【スケジュール】

8:30 動物園前駅 2番出口 集合

10:00 ~ 12:00 上映会

12:00 ~ 13:00 監督講演会

13:00 ~ 14:00 みんなでごはんを食べながらお話し

コーディネーター 熊本拓矢



Vol.2 「福島原発で何が起きているのか」 その1 その2 を見て

日 時：5月31日 16:00～18:00

京都大学原子炉実験所小出 裕章さんへのインタビュー映像を通して、原発について考えます。

DVD情報

「福島原発で何が起きているのか」 小出裕章（京都大学原子炉実験所）

2011年3月25日 DVD・56分

「福島原発で何が起きているのか」その2 小出 裕章（京都大学原子炉実験所）

2011年4月14日 DVD・60分

製作・著作 森の映画社・影山事務所

監督 藤本幸久／インタビューー 影山あさ子／撮影 栗原良介

<http://america-banzai.blogspot.com/>

小出裕章 - 専門は放射線計測、原子力安全。原子力の平和利用に夢をいだき、東北大学大学院の原子核工学科に入学するが、在学中に原子力発電に関わる様々な問題点も同時に知ることとなる。その後、伊方原発裁判、人形峠のウラン残土問題、JCO臨界事故などで放射線被害を受ける住民の側に立って活動。原子力の専門家でありながら、そのリスクや問題点についての研究活動に精力的に取り組んできた。3月11日の地震以降、福島原発について昼夜も分かたず奮闘し続けている。著書：「放射能汚染の現実を超えて」「原子力と共存できるのか」「環境と人間」「人間と放射線」

場所：カマン！メディアセンター

参加費：無料（カンパ歓迎）

コーディネーター 飯田和美



Vol.3 エネルギーと暮らし～アフリカからエネルギーについて考える～

日 時：6月4日（土）16:00～17:30

闘う人類学者岡本さんは、10年ほどアフリカで研究や活動をし、農業やエネルギーのことについて想いをめぐらせてきた。今だからこそみんなと考えたり、はなしたりしたい、エネルギーのこと、暮らしのこと。輪になって考えます。

場所：ココルーム

参加費：無料（カンパ歓迎）

コーディネーター 岡本マサヒロ

Vol.4 どうしたら社会は変わるのか～「運動」という視点から～

日 時：6月18日（土）18:00～19:30

東京での1万5千人の反原発デモ。大阪での4千人のデモ。数多く行われる署名運動や政府への声明の提出。各地で起こる、反対行動や運動… しかし、全国にある原発は止まることなくはたらきつづけ、建設予定の原発の建設予定は中止にはなってはいません。社会運動として、いま起きている反原発運動をとらえたときに、社会の「変わらなさ」を越えていく技術はどこにあるのだろうか。釜ヶ崎で60年代から活動を続けてきた山田實さんとお話します。

場所：カマン！メディアセンター

参加費：無料（カンパ歓迎）

コーディネーター 山田實

Vol.5 原発で働くことについて考える

日 時：6月28日（土）16:00～17:30

『原発ジプシー』（1979 講談社）。フリージャーナリスト堀江邦夫さんが原発労働の実態を知るために、ジャーナリストの素性を隠し労働者として原発労働の現場に入って書き下ろしたのがこの『原発ジプシー』です。「原子力について知ってほしいこと」などをみんなで読んで、原発労働について考えます。原発現場での労働経験がある人の多い釜ヶ崎。この釜ヶ崎の日雇労働者の名前も登場する本書を、このまちでみなさんとともによんでみたいと考えています。

原発ジプシーに関しては絶版品切れ、入手困難なため、1冊をみんなで回し読みします。

場所：カマン！メディアセンター

参加費：無料（カンパ歓迎）

コーディネーター 原田麻以

